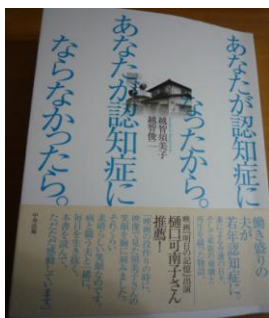


認知症 市民啓発研修会の開催報告



越智先生の講演のご様子です。ご自分の体験を話していただき、参加者からも心が温まるひとときであったというお声を頂きました。越智先生、本当にありがとうございました。



平成28年3月26日(土)13:30~15:30まで、のがみプレジデントホテルにて、「道しるべ~若年性認知症本人の思い、家族の想い~」という演題で、越智須美子先生に映像を交えながら、お話ししていただきました。民生委員、社会福祉協議会、介護職員の方など120名の方々にご参加頂きました。

司会をして頂いた、平岡 OT 長に、越智俊二様のメッセージを代読していただきました。〈自分を忘れたくない〉、個人の尊厳について考えるひとときでした。

この場を借りまして、御礼申し上げます。また、時間を超過したこと、マイクの音量が聞こえづらいうことがあり、参加者の皆様方にご迷惑をおかけ致しました。

次回は、平成28年7月2日土曜日午後1時~午後3時まで、のがみプレジデントホテルにて、「若年性認知症のケア、予防・そして笑顔で向き合えるために」という演題で、天神オアシスクラブ施設長 中島七海先生による講演を企画しています。また、皆様方とお会いできることを楽しみにしています。

最後に、120名の方々のうち、アンケートに77名の回答、回答率64%でした。

そのアンケートのご意見をいくつかご紹介させていただきたいと思います。

◇言葉は、言葉によって幸せにもなるし、人を傷つけることもある・・気を付けよう。自分自身に。

◇忘れてもよい。忘れることをおそれずに。

◇認知症の人在宅で見ている家族の気持ちがよく分かった。介護者として何が出来るかを考えさせてくれる時間だった。また、認知症にかかっている、本人は出来る事がある。本人自身もつらいという事を改めて考えさせる事ができた。

◇人は悲しい。色々なことを考えさせられました。自分を忘れ、家族を忘れる・・・・。

介護って大変ですね。家族の問題でもありますよね。2歳児よりも何もできなくなる。